

学校法人北里研究所報

第117号



目次

■ トピックス(1)	■ 委員会等(7)
<ul style="list-style-type: none"> ・第1回 ファーマラボ EXPO アカデミックフォーラムに出展しました ・かながわ発・中高生のためのサイエンスフェアに出展しました ・理学部がハーバード大学との国際交流プログラムを実施しました ・大村 智特別栄誉教授が『一期一会』をテーマに講演しました 	<ul style="list-style-type: none"> ・北里大学学術国際交流助成審査委員会 ・北里大学利益相反委員会 ・研究活動不正防止倫理委員会 ・AKPS 委員会 ・北里大学学術奨励研究審査委員会 ・北里大学チーム医療教育委員会 ・北里大学高等教育開発センター会議 ・北里大学就職委員会 ・北里大学高等教育開発センター員
■ 事業計画（追加・修正等）(4)	
■ 2020年度事業計画編成方針(5)	
■ 人 事(6)	
■ 北里大学北里生命科学研究所の名称変更(6)	
■ 規 程(6)	
<ul style="list-style-type: none"> ・北里大学北里生命科学研究所設置規程の改正 ・北里大学科目等履修生規程の改正 ・北里大学大学院科目等履修生規程の改正 ・学校法人北里研究所 RI 安全管理規程の改正 	■ 2018年度学校法人北里研究所職員互助会決算について(9)
■ IPE 棟の英文呼称(7)	■ 受 賞(9)
■ 学術交流(7)	■ イベント(10)
<ul style="list-style-type: none"> ・薬学部とケンタッキー大学薬学部との学術交流に係る覚書(学部等間覚書)の更新 ・獣医学部とパデュー大学獣医学部との学術交流協定(学部等間協定)の更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・第60回発明相談会 ・2019年度北里大学薬学部生涯学習セミナー（中期） ・市民大学「北里大学コース」 ・第6回 Tishler-Ōmura 講演会
	■ CO ₂ 排出量と光熱水費（2019年6月）.....(12)

【法人・大学の理念】

学校法人北里研究所は、北里柴三郎博士の精神に則り、

「いのちを^{たつと}尊び、生命の真理を探究し、

実学の精神をもって社会に貢献する。」 ことを理念とする。



トピックス

第1回 ファーマラボ EXPO アカデミックフォーラムに出展しました

7月3日(水)から5日(金)の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区青海)で第1回「ファーマラボ EXPO — [医薬品] 研究開発展—」(本展示会は、昨年まで同時期に開催していたバイオテックがリニューアルしたものです。)が開催され、北里大学からは5名の研究者(北里生命科学研究所 岩月正人准教授、北里大学メディカルセンター 福山隆上級研究員、北里生命科学研究所 中島琢自特任准教授、薬学部 小山信裕講師、薬学部 大手聡助教)が出展し発表を行いました。

3日間で延べ42,000名を超える来場者があり、医療、創薬、ライフサイエンス等の分野における大学等の68研究室が最新の研究成果や技術を展示・発表しました。

本学のブースにも医薬品メーカー、バイオテック企業、ベンチャーキャピタルなど多数の企業が来訪し、技術移転や新しい共同研究の相談、研究の事業化に係る商談など、産学連携に向けたマッチング活動が繰り広げられました。今回の出展は、ライフサイエンスのパイオニアとしての本学のブランドイメージ向上にもつながりました。



かながわ発・中高生のためのサイエンスフェアに出展しました

7月13日(土)、そごう横浜店9階新都市ホール(神奈川県横浜市西区)にて「かながわ発・中高生のためのサイエンスフェア」が開催されました。「かながわ発・中高生のためのサイエンスフェア」は、神奈川県が主催し、県内に立地している理工系の大学等と協働で開催する、中学生・高校生を対象とした、科学の不思議や魅力を“見て、聴いて、知って”もらうためのイベントです。今回は県内の17大学、一般企業2社が様々な実演や体験ブースを出展し、約2,200名の方が来場しました。

北里大学からは理学部生物科学科の齊藤康二講師と田村啓講師が、研究室の学生とともに「生物発光と蛍光を使わない生物学なんて考えられない!」と題して、「発光」や「蛍光」の仕組みを身近なモノで体験できるブースを出展しました。ホテルのお尻を光らせる物質を使った実験や、鉛やオタマジャクシの細胞が光る様子や蛍光ペンを使った様々な波長の蛍光を観察できるブースは、中高生だけではなく、小さな子どもたちからご年配の方々まで、多くの方に参加いただくことが出来ました。

例年参加している本イベントへは、理学部と海洋生命科学部が交替で参加しており、次年度は海洋生命科学部が参加する予定です。



ブラックライトを用いた蛍光観察

理学部がハーバード大学との国際交流プログラムを実施しました

理学部では、2009年度から米国ハーバード大学との国際交流プログラムを実施しています。本プログラムは、学部生や大学院生にハーバード大学の若手研究者との交流を通し、外国人研究者との英語でのコミュニケーションの機会を与えるもので、隔年で派遣と招聘を行っています。

今年度は、7月14日(日)～7月20日(土)の7日間、ハーバード大学医学部から4名を招き、セミナーやミーティング、研究室の見学などを行いました。セミナーでは、4名の招聘者が自分の研究内容を発表し、その後英語による質疑応答を行い、大学院生をはじめとした多くの聴講者の関心を集めていました。学部生への講義の中では、招聘者の自己紹介と研究内容の説明があり、多くの学部生が関心をもって聴講していました。各研究室への訪問では、大学院生が自分たちの研究活動を英語で説明し、招聘者からも活発な質問を受け英語で意見交換を行いました。また、東京の日帰り観光を学生たちで企画し、招聘者に日本文化の紹介を行いました。

学生が、国際的に著名な大学の若手研究者と交流することは勉学の向上心を養うとともに、国際的な視点に立ち、将来社会で活躍できる素地を作ることに繋がります。今後も、継続して本プログラムを行っていきます。



大村 智特別栄誉教授が『一期一会』をテーマに講演しました

7月31日(木)、大村 智特別栄誉教授が、北里生命科学研究所で定期的に行っている KMC フロンティアセミナーの第88回目の SPECIAL PROGRAM として、“ONE ENCOUNTER, ONE CHANCE IN SCIENCE” “一期一会が科学を拓く”をテーマに講演されました。

幼少期から都立隅田工業高校の教諭を務めていた頃までのエピソードを紹介し、それぞれで自己形成のための出会いと教訓があったと述べられました。大村博士が北里研究所において進められた独創的で世界に先駆けた研究によって発見された化合物の中から、スタウロスポリン、ラクタシスチン、アフィドピロペン、メデルロジンを取り上げ、それらの発見と成果についてお話され、続いてノーベル賞受賞対象となったエバーメクチン/イベルメクチンの発見とその後の展開についてもお話されました。そして、永年の研究生活の中で多くの科学者との出会いがあり、これらの科学者との一期一会を大切にしてお互いに優れた共同研究を行うことができたことも紹介されました。また、座右の銘でもある郷里の山梨県の著名人が残した言葉に触れ、参加者へその意味を分かりやすく語りかけていました。講演後は、感染制御科学府修士課程1年の中嶋明日香さんが代表して大村博士に花束を贈呈しました。371名の参加者の内、約半数が学生であり、社会人となった時の心の拠り所を学ぶことができた貴重な講演会となりました。



事業計画（追加・修正等）

《7月理事会承認》

■総合事業計画

〔基本方針及び取組課題名〕

- (1) 経営改革の断行
 - ⑤保健衛生専門学院の経営改善【修正】
- (2) 教育・研究・法人運営の基盤整備
 - ⑤法人運営の基盤整備(法人全体のIT化の推進)【追加】
 - ⑥私立学校法の一部改正に係る対応【追加】
- (8) 危機管理・コンプライアンスの強化
 - ③北里研究所版ガバナンス・コードの策定【追加】
- (10) 法人運営の根幹の強化
 - ②将来構想（中期計画）の検討【修正】

〔理由〕

2018年度事業業績の検証結果及び法改正等に伴う追加・修正

■各部門の重点事業計画

◆理事長執務室

〔事業名称〕

- ①危機管理体制強化への取組【修正】
- ②北里大学病院、北里大学北里研究所病院、北里大学メディカルセンターの経営改善への取組【修正】

〔理由〕

- ①計画年数を2年から4年に修正
- ②決算確定に伴う経費修正

◆法務部

〔事業名称〕

- ①私立学校法の一部改正に係る対応【追加】
- ②北里研究所版ガバナンス・コードの策定【追加】

〔理由〕

法改正等に伴う追加

◆管財部

〔事業名称〕

- ①キャンパス整備・校舎建設【修正】
- ②相模原交通対策【修正】
- ③購買システムの整備【修正】
- ④法人保有資産の有効利用【修正】
- ⑤旧耐震基準建築物に係る耐震診断の実施及び耐震改修工事計画の策定と工事の実施【修正】

〔理由〕

2018年度事業業績の検証結果及び2019年度進捗状況を踏まえ修正

◆知的資産センター

〔事業名称〕

知的資産マネジメント体制の強化に向けた取組【修正】

〔理由〕

計画年数を3年から4年に修正

◆健康管理センター

〔事業名称〕

- ①法人全キャンパスを対象とした教職員学生の健康管理システムの構築【修正】
- ②「教育」としての学生相談活動の充実化【修正】

〔理由〕

計画内容を一部修正

◆獣医学部

〔事業名称〕

八雲牧場の収益改善事業計画【修正】

〔理由〕

計画内容を一部修正

◆医学部

〔事業名称〕

大学認証評価（医学教育分野別評価）受審に向けた取組【修正】

〔理由〕

計画年数を5年から6年に修正

◆海洋生命科学部

〔事業名称〕

- ①三陸臨海教育研究センターの教育・研究機能の復旧メンテナンス事業【修正】
- ②三陸キャンパス関連施設の将来計画の策定事業に基づく計画の実施【追加】

〔理由〕

- ①計画内容を一部修正
- ②進捗状況を踏まえ計画を追加

◆医療衛生学部

〔事業名称〕

医療衛生学部校舎建替え計画【修正】

〔理由〕

計画内容を一部修正

◆北里生命科学研究所

〔事業名称〕

実験動物センター空調改修工事（アネックス棟地下2階）【修正】

〔理由〕

工事繰り延べに伴う計画内容を一部修正

◆大学病院

〔事業名称〕

- ①相模原病院群統合プロジェクトに関わる新病棟新築工事及び本館改修工事計画【修正】
- ②入退院支援に関わる診療機能等の整備計画（PFMの導入）【追加】

[理由]

- ①計画内容を一部修正
- ②東病院の診療機能移転・統合を踏まえ追加

◆北里研究所病院

[事業名称]

勤怠管理システムの更新【修正】

[理由]

計画年数を1年から2年に修正

◆北里大学メディカルセンター

[事業名称]

- ①勤怠管理システムの更新【修正】
- ②泌尿器科用X線透視装置の更新【取下げ】

[理由]

- ①計画年数を1年から2年に修正
- ②計画の見直しにより取下げ

2020年度事業計画編成方針

《7月理事会承認》

■2020年度事業計画編成方針等

(1) 事業計画の目的

学校法人北里研究所及び北里大学の使命や社会的役割などは、法人及び大学の理念「いのちを尊び、生命の真理を探究し、実学の精神をもって社会に貢献する。」として宣明し、北里研究所・北里大学のビジョンとして長期目標を示している。第20期理事会は、これらに基づき、4年間で達成するミッションとして「盤石な財務体質を確立し、より質の高い教育・研究・医療を支える体制を築くこと（決断と実行－経営改革の断行－）」を掲げ、さらにこのミッションを達成するための重要課題として、理事会施策を策定した。事業計画は、理事会施策をより具体化し、それを効果的かつ効率的に達成するための行動プランであり、理事会施策と各部門の年度計画が体系的に構築されなければならない。

(2) 編成方針

各部門にあつては、下記基本方針を念頭に置いた事業計画を策定すること。

[2020年度事業計画基本方針]

- 1) 経営改革の断行
- 2) 教育・研究・法人運営の基盤整備
- 3) 教育体制の充実
- 4) 研究体制の充実
- 5) 医療提供体制の充実
- 6) 治験・知財の活用
- 7) 人事・給与制度の整備
- 8) 危機管理・コンプライアンスの強化
- 9) 社会貢献の推進
- 10) 法人運営の根幹の強化

(3) 留意事項（取りまとめ方法）

[共通]

- 1) 各部門においては、第20期理事会施策・取組課題に則り、本法人がさらなる発展を期すため、特に経営改革と財政基盤の確立に必要な中・長期計画、具体的の方策を立てること。
- 2) 2020年度事業計画の策定にあたっては、各部門における2018年度事業業績等の自己点検・評価結果及び2019年度事業計画の進捗状況を踏まえて作成すること。
- 3) 校舎等建築計画等の事業計画については、経理部・管財部と連携のうえ、全学的な経営の視点により立案（付帯費用等を含めた全体の事業費と資金計画を含む）すること。
- 4) 経費削減並びに人員の抑制に努め、収支の均衡を図り、適切な事業計画を立案すること。
- 5) 各部門の事業計画の編成にあたっては、部門長が中心となって検討し、考え方や方針が部門内で共有されるよう一定のプロセス（運営委員会等で協議など）を経て進めること。

[教学部門]

- 1) 教学面においては、大学の理念、大学基準協会による大学評価(認証評価)の結果等に基づいてPDCAサイクルを機能させ、教育・研究の充実と活性化に向けた特色ある教育・研究を引き続き推進すること。
- 2) 特に、複数の部門が関連する事業については、学長が各部門と調整を図り、計画を立案すること。
- 3) 入学定員管理の厳格化に向けて、大学等設置認可申請や私立大学等経常費補助金の制度上の制限を受けないよう、適切な方策を立案すること。

[病院群部門]

- 1) 3病院及び東洋医学総合研究所にあつては、引き続き連携して医療・臨床教育の質向上と経営改善に向けて取組み、スケールメリットを活かした機能充実と事業連携の方策を構築すること。
- 2) 経営協議会を中心に収支改善に向けた各種の施策を検討し、経営資源を有効的に活用するなど収支の安定化を図るものとし、特に、北里大学メディカルセンター、北里研究所病院及び東洋医学総合研究所にあつては、理事会と協働した抜本的な改革を実行し、早期の収支均衡を目指すこと。

(4) 計画項目

- 1) 『共通事業項目』（数値目標の設定のみ）
- 2) 『重点事業項目』（重点事業及び施設・設備計画は同一様式）
- 3) 『今後4年間の主な施設・設備等の整備計画』
- 4) 『人員計画』
- 5) 『長期収支予測表』

(5) 提出期限 2019年10月1日(火) 全部門共通

(6) 編成日程

事 項	期 日	会議体等
編成方針の決定	2019年7月19日(金)	理 事 会

事項	期 日	会議体等
各部門へ通知(作成依頼)	7月19日(金)	
提出期限	10月1日(火)	
意見交換会	10月中旬～10月下旬	
事業計画の協議・審議 《予算編成に向けた対応等》	11月1日(金) 11月15日(金)	学部長会 理 事 会
各部門へ通知(審議結果)	11月下旬	
事業計画の協議・審議・決定	2020年3月6日(金) 3月19日(木) 3月28日(土)	学部長会、 理事会、 評議員会、 臨時理事会

■人員計画(案)の作成

2020年度人員計画(案)については、各部門において詳細な採用・昇任計画をたて、教育・研究・診療面から必要最小限の人員計画を作成する。

(1) 2020年度人員計画の記載方法

- ・2019年度人員計画
- ・減員(退職予定者等)、減員の理由
- ・増員(採用予定者等)、増員の理由
- ・増減(2020年度人員計画から2019年度人員計画を引いた人員数)
- ・業務委託(法人敷地内で勤務する者の内、労働時間等が週5日以上または週30時間以上勤務する者について記載すること。※清掃に従事する者は除外)

(2) 人件費抑制のための改善策(様式任意)

■長期収支予測表の作成

人員の効率的な配置や経費削減など、これまで実施してきた経営改革を今後も継続し、長期的視点で経常収支差額比率と更新資金積立率の計画的向上を図る。

(1) 作成上の留意点

今後各部門が展開しようとする事業の可否や事業動向に伴うリスク要因の回避など、将来的な方向性を判断するための資料であることから、確実に見込める収入・支出の単なる積み上げに止まることなく、各年度における決算着地額を予測すること。

- ・学生生徒等納付金収入について
- ・医療収入について
- ・人件費について
- ・物件費等について
- ・施設・設備投資について
- ・消費税について
- ・共通経費等について
- ・表記について

人 事

人事は、「公示」により公表します。
「学校法人北里研究所報」には、原則として理事会の承認事項を掲載します。

《7月理事会承認》

大学教育職の採用

前田 一郎(医学部教授)

任期制教員の任期：2019年8月1日～2024年3月31日
(2019年8月1日付)

第3種特任教員(特任教授)の任用

土肥 直樹(医学部特任教授)

任期：2019年8月1日～2020年3月31日

《7月学部長会了承》

理学部附属疾患プロテオミクス・センター長の任用

小寺 義男(理学部教授)

任期：2019年4月1日～2021年3月31日

北里大学北里生命科学研究所の名称変更

《7月理事会承認》

[名称変更]

(旧) 北里大学北里生命科学研究所

→ (新) 北里大学大村智記念研究所

[変更理由]

- ・新たな抗感染症薬創製を大きな柱としたワンヘルスの向上により貢献する研究所を目指すため
- ・併せて、これを機に北里柴三郎博士を表す北里大学と大村智博士を表す大村智記念研究所のダブルネーム方式による拡大ブランド戦略のもと、国際的・学際的な研究拠点として国内外の企業および国内・国際社会等に大きくアピールしていくため

[変更時期]

2020年4月1日付

規 程

各規程の全文は、「教職員専用サイト諸規程」に収録します。
「学校法人北里研究所報」には、原則として理事会の承認事項を掲載します。

《7月理事会承認》

北里大学北里生命科学研究所設置規程の改正

[改正理由・内容]

- ・北里大学北里生命科学研究所の名称変更に伴い、規程名称も「北里大学大村智記念研究所設置規程」に改正する。
- ・第1条 「北里生命科学研究所(以下「生命研」という。: Kitasato Institute for Life Sciences,

Kitasato University)」を、「大村智記念研究所（以下「大村研」という。:Satoshi Ōmura Memorial Research Institute, Kitasato University）」に改める。

- ・第2条以降 「生命研」と記載の箇所を、「大村研」に改める。
- ・第10条第1項第4号 職員の種類として、現状を踏まえ、かつ今後も継続して配置することが見込まれるため、「教育系技術職員」を追加する。

〔改正・施行日〕

改正日：2019年7月19日

施行日：2020年4月1日

《7月学部長会了承》

北里大学科目等履修生規程の改正

北里大学大学院科目等履修生規程の改正

〔主な改正内容〕

- 1) 第4条第1項第5号に規定する健康診断書の様式を新規に策定する。
- 2) 第9条第2項に規定する単位修得証明書及び履修証明書の様式を更新する。

〔改正事由〕

健康診断書については、これまで検査項目を規定していなかったため。単位修得証明書及び履修証明書については、履修先により掲載内容が異なっていたため。

〔改正・施行日〕

改正日：2019年7月5日

施行日：2019年8月1日

《7月学部長会了承》

学校法人北里研究所 RI 安全管理規程の改正

〔改正内容〕

上下二層になっている組織から四者（部門長・主任者・放射線安全委員会・事務室）が協働して機能する組織に変更する。

〔改正事由〕

放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律の改正に伴う各部門放射線障害予防規程改正にあわせ、学校法人北里研究所RI安全管理組織を現行に則したものとするため

〔改正・施行日〕

2019年7月11日

IPE棟の英文呼称

《7月学部長会了承》

臨床教育研究棟（IPE 棟）英文呼称
Interprofessional Education Building

学 術 交 流

《7月学部長会了承》

薬学部とケンタッキー大学薬学部との学術交流に係る覚書（学部等間覚書）の更新

〔締結機関〕

ケンタッキー大学（アメリカ合衆国）

〔覚書の目的〕

国際的な学術交流を深め、学術及び科学上の関係を発展させ、連携した研修活動を支援するため

〔学術交流の主な内容〕

- 1) 協力関係を育むような教育、研究、教員と学生の相互派遣、人材育成などの活動やプログラムの機会の提供
- 2) 教育活動、文化活動、研究活動への参加
- 3) 教員及び学生の相互派遣
- 4) セミナー、学術集会への参加
- 5) 学術資料、出版刊行物、その他の情報の交換
- 6) 特別な短期学術プログラム

〔締結期間〕

2019年7月13日～2024年6月30日

獣医学部とパデュー大学獣医学部との学術交流協定（学部等間協定）の更新

〔締結機関〕

パデュー大学獣医学部（アメリカ合衆国）

〔協定の目的〕

国際的な相互理解と親善を深め獣医学部教育及び研究の協力発展を促進し、教育基盤の一層の充実と発展を図るため

〔学術交流の主な内容〕

- 1) 教育と研究に関する情報交換の促進
- 2) 教員の交流
- 3) 学生の派遣受け入れ（長期・短期のプログラム）
- 4) その他、双方が随時協議して同意した事項

〔締結期間〕

最後に署名された日付から5年間

委 員 会 等

《7月学部長会了承》

北里大学学術国際交流助成審査委員会

〔委員長の選出〕

北里 英郎（国際部長）

〔任期満了に伴う後任候補者の選出〕※は新任

北里 英郎（国際部長）

久保田理恵（薬学部准教授）※

有原 圭三（獣医学部教授）※

萬代 研二（医学部教授）

森山 俊介 (海洋生命科学部教授)
 田中 美加 (看護学部教授)
 高松 信彦 (理学部教授)
 清 和成 (医療衛生学部教授)
 平井 清子 (一般教育部教授)
 七里 眞義 (医療系研究科専任教授)
 砂塚 敏明 (北里生命科学研究所教授)
 鈴木 邦彦 (東洋医学総合研究所漢方鍼灸治療センター副センター長・漢方診療部部长)※
 小幡 文弥 (北里大学保健衛生専門学院長)

〔任期〕

2019年7月1日～2021年6月30日

北里大学利益相反委員会

〔委員長の選出〕

堤 明純 (医学部教授)

任期：2019年4月1日～2021年3月31日

〔委員の選出〕

相談員：渡邊 達也 (医学部講師)

任期：2019年6月5日～2021年3月31日

研究活動不正防止倫理委員会

〔委員長の選出〕

高井 伸二 (副学長)

〔任期満了に伴う後任候補者の選出〕

高井 伸二 (副学長)

渋谷 明隆 (研究担当常任理事)

朝日田 卓 (海洋生命科学部教授)

原田 毅 (事務本部長)

寺本 純生 (総務部長)

中村 和彦 (研究支援センター事務室事務長)

樋川 直司 (相模女子大学栄養科学部教授)

福嶋 義光 (信州大学医学部特任教授)

吉川 正伸 (銀座三丁目法律事務所弁護士)

〔任期〕

2019年7月1日～2021年6月30日

AKPS委員会

〔委員長の選出〕

北里 英郎 (副学長)

〔任期満了に伴う後任候補者の選出〕

北里 英郎 (副学長)

岡田 信彦 (薬学研究科長)

高井 伸二 (獣医学系研究科長)

菅野 信弘 (海洋生命科学研究所科長)

島袋 香子 (看護学研究科長)

眞崎 康博 (理学研究科長)

浅利 靖 (医学部長)

岩渕 和也 (医療系研究科長)

森川 裕子 (感染制御科学府長)

渋谷 明隆 (研究担当常任理事)

〔任期〕

2019年7月1日～2022年6月30日

北里大学学術奨励研究審査委員会

〔任期満了に伴う後任候補者の選出〕※は新任

長光 亨 (薬学部教授)※

久留主志朗 (獣医学部教授)※

高橋 倫子 (医学部教授)※

森山 俊介 (海洋生命科学部教授)

三藤 久 (看護学部教授)

吉國 裕三 (理学部教授)

高平 尚伸 (医療衛生学部教授)

大石 敏広 (一般教育部教授)

片山 和彦 (北里生命科学研究所教授)※

星野 卓之 (東洋医学総合研究所研究部門部門長・医学研究部部長)※

小幡 文弥 (北里大学保健衛生専門学院長)

〔任期〕

2019年7月1日～2021年6月30日

*吉國 裕三委員の任期は2019年7月1日～2020年3月31日 (定年退職の日付まで)

北里大学チーム医療教育委員会

〔委員の交代〕

旧委員 清野 正子 (薬学部教授)

→新委員 中原 努 (薬学部教授)

〔任期〕

2019年7月1日～2020年6月30日

北里大学高等教育開発センター会議

〔委員の交代〕

旧委員 錦見 昭彦 (理学部准教授)

→新委員 関田 洋一 (理学部准教授)

〔任期〕

2019年8月1日～2020年6月30日

北里大学就職委員会

〔委員の交代〕

旧委員 小杉日登美 (北里大学保健衛生専門学院講師待遇)

→新委員 竹内 法子 (北里大学保健衛生専門学院講師待遇)

〔任期〕

2019年4月1日～2020年3月31日

旧委員 田邊 光男 (薬学部教授)

→新委員 清野 正子 (薬学部教授)

旧委員 久保 五月 (看護学部教授)

→新委員 城戸 滋里 (看護学部教授)

〔任期〕

2019年7月1日～2020年3月31日

北里大学高等教育開発センター員

〔センター員の交代〕

旧センター員 錦見 昭彦 (理学部准教授)

→新センター員 関田 洋一 (理学部准教授)

〔任期〕

2019年8月1日～2020年6月30日 (前任者の残任期間)

2018年度学校法人北里研究所職員互助会 決算について

2018年度の決算は、収入の部小計38,742,236円と支出の部小計45,365,418円との差額により、当期の実質的収支差額は、△6,623,182円となりました。

この結果、次期繰越金は55,839,776円となります。

収支計算書（2019年3月31日現在）

[単位：円]

支出の部		収入の部	
科 目	決算額	科 目	決算額
療養給付	28,870,866	会費収入	38,741,700
傷病	6,914,762		
出産	21,956,104		
慶弔給付	6,385,000		
結婚	1,500,000		
出産	2,260,000		
死亡	2,550,000		
長期療養	75,000		
退職給付	9,959,000		
振込手数料支出	150,552	受取利息収入	536
小計 ①	45,365,418	小計 ⑤	38,742,236
		前年度前受金(当年度会費)⑥	▲2,100
		未収入金(学校法人2018.3月分会費)⑦	1,528,800
計 ②	45,365,418	計(⑤+⑥+⑦) ⑧	40,268,936
次期繰越金 ③	55,839,776	前期繰越金 ⑨	60,936,258
支出の部合計 ④ (①+③)	101,205,194	収入の部合計 ⑩ (⑧+⑨)	101,205,194

当期資金収支差額 (⑧-②)	△5,096,482
実質的当期収支差額 (⑤-②)	△6,623,182

受 賞

JSRC Young Scientist Award for ICRR2019 受賞



理学部 前山 拓哉

理学部化学科の前山拓哉助教が、8月25日からイギリス・マンチェスターで開催される国際学会、第16回 International Congress of Radiation Research(ICRR2019)にて発表予定の題目「Nanoclay gel-based radio-fluorogenic gel dosimeters using Dihydrorhodamine 123」が優秀な内容であると評価され、日本放射線化学会が表彰する JSRC Young Scientist Award for ICRR2019を受賞しました。

(2019年7月11日付)

イベント

詳細につきましては、Web サイトでご確認ください。

第60回発明相談会

第60回 発明相談会

日時: **8月27日(火)** 10:00~17:00
場所: 相模原キャンパス クレセント 1階 「会議室」

★完全予約制 による個別面談 (お一人1時間)
特許事務所弁理士がご相談に応じます。

- ・特別な資料や、特許の予備知識は不要です。
- ・特許出願の可能性を弁理士とご一緒に検討します。
- ・「特許案」提供テーマも出願検討の対象になります。
- ・公開 (特許庁のデータベース) の「新」に特許出願を完了しないと特許を得られません。
- ・ご相談から出願完了まで通常約2ヶ月かかります。

費用: 無料
対象: 本学教職員
締切: 8月26日(月)正午 但し、定員に限り次第締切。

別の日でも随時対応いたします。

問い合わせ先
知財資産センター
知財コーディネーター
佐藤 修
o.sato@kitasato-u.ac.jp
電話 03-5791-6329

日時: 8月27日(火) 10:00~17:00
場所: 相模原キャンパス クレセント棟 1階会議室
内容: 特許事務所弁理士との個別面談
※完全予約制・一人1時間
対象: 本学教職員
問合せ: 知的資産センター
佐藤 修 (知財コーディネーター)
〔電話〕 03-5791-6329
〔メール〕 o.sato@kitasato-u.ac.jp

2019年度北里大学薬学部生涯学習セミナー (中期)

テーマ: 薬剤師が身につけたい病態知識と服薬指導の実践

【第1回】医師から学ぶ疾患と治療

日時: 9月7日(土) 14:30~17:45

内容:

〔講義1〕乳がん治療の最前線

講師: 五月女恵一 (北里研究所病院乳腺・甲状腺外科副部長)

〔講義2〕健康寿命を延ばすために～ロコモティブシンドロームについて～

講師: 金子 博徳 (北里研究所病院副院長・整形外科部長)

【第2回】高齢者における医薬品の適正使用

日時: 10月5日(土) 14:30~17:45

内容:

〔講義1〕高齢者における薬物動態と医薬品使用時の留意点一腎機能低下時の薬物投与と薬物相互作用を中心に一

講師: 大野 能之 (東京大学医学部附属病院薬剤部)

〔講義2〕高齢者の医薬品適正使用の指針から考える～開局薬剤師の多職種連携のポリファーマシーへの取り組み～

講師: 大木 一正 (クリーン薬局)

【第3回】漢方薬の理解と服薬指導のポイント

日時: 10月19日(土) 14:30~17:45

内容:

〔講義1〕漢方医療における服薬指導のポイント

講師: 高際麻奈未 (東洋医学総合研究所薬剤部)

〔講義2〕歴史から漢方薬を理解する

講師: 緒方 千秋 (東洋医学総合研究所広報・医療相談室)

場所: 白金キャンパス 薬学部1号館
1501大講義室 (予定)

対象: 本学および他薬系大学の卒業生

受講料: 各回 2,000円

定員: 各回 300名 (要申込)

問合せ: 薬学部生涯学習センター事務局 (北里大学薬友会内)

〔登録フォーム〕 <https://pro.form-mailer.jp/fms/5d4fd831175374>

〔電話〕 03-3448-8191

〔メール〕 ph-llc@kitasato-u.ac.jp

※締切 (第1回) 2019年9月2日(月)

(第2回) 2019年9月30日(月)

(第3回) 2019年10月14日(月)

共催: 北里大学薬友会、日本薬剤師研修センター

関連URL: https://www.kitasato-u.ac.jp/pharm/general_info/n20190722.html

市民大学「北里大学コース」

【暮らしに役立つ医療の知識】

開講日: 9月25日(水)~11月13日(水)【全8回】

時間: 13:30~15:00 ※初回のみ13:20~15:00

場所: 相模原キャンパス L 1号館 4階42講義室

内容:

第1回 (9月25日(水))

知っておきたい、「くすり」のこと

講師: 菅原 充広 (北里大学病院薬剤部課長)

第2回 (10月2日(水))

再生医療に用いられる幹細胞(iPS細胞)とはどんな細胞?

講師: 渡邊 大介 (理学部講師)

第3回 (10月9日(水))

フレイルティとサルコペニアを回避せよ! ~健康寿命を延ばし、介護を避ける方法~

講師: 魚嶋 晴紀 (医学部診療講師)

第4回 (10月16日(水))

病理診断について 一消化管の癌を中心に一

講師: 高橋 博之 (医療衛生学部教授)

第5回 (10月23日(水))

脳の病気(てんかん・認知症)を正しく知るための基礎知識

講師: 岡 秀宏 (北里大学メディカルセンター副院長)

第6回 (10月30日(水))

暮らしに役立つフィジカルアセスメント

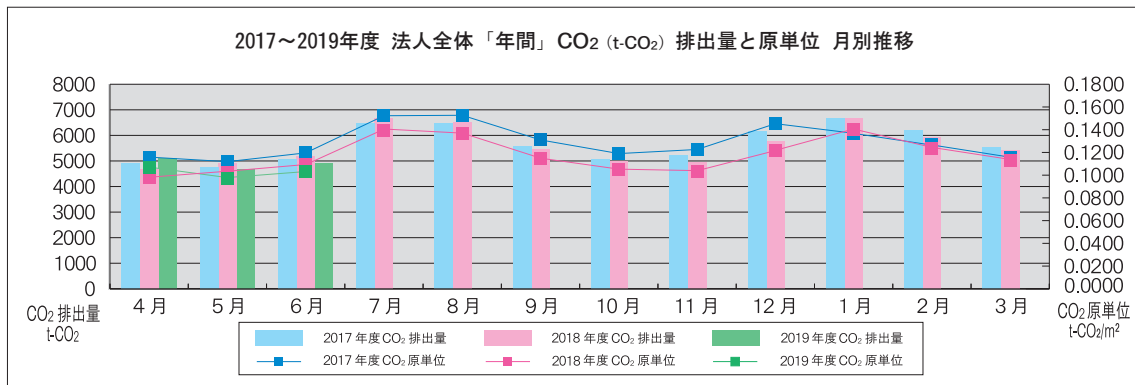
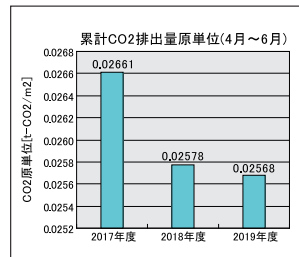
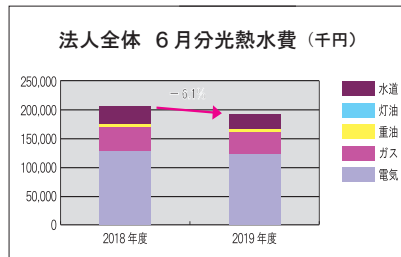
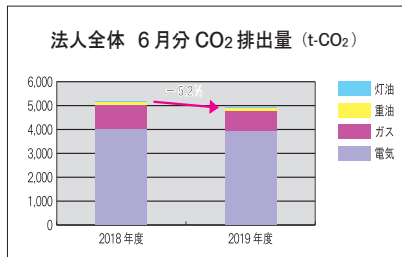
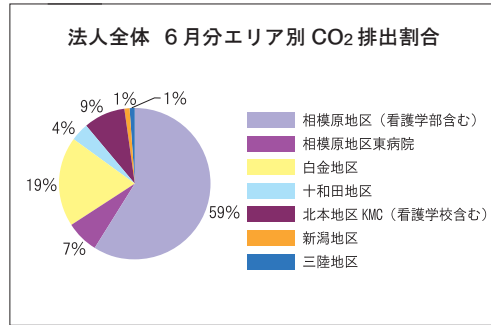
<p>講師：小山友里江（看護学部教授）</p> <p>第7回（11月6日(木)） 後期高齢者時代を幸せにのりきるために 講師：高橋 恵（北里研究所病院精神科部長）</p> <p>第8回（11月13日(木)） 「最期まで自分らしく生きるために」寸劇講演の活動紹介と意思決定支援 講師：油谷 和子（北里大学東病院看護部部長）</p> <p>【健康で豊かな人生のための基礎知識】 開講日：9月12日(木)～11月7日(木)【全8回】 時 間：13：30～15：00 ※初回のみ13：20～15：00 場 所：相模原キャンパスL 2号館3階310講義室 内 容：</p> <p>第1回（9月12日(木)） 幹細胞とその周辺 講師：久保田浩司（獣医学部教授）</p> <p>第2回（9月19日(木)） 物理の世界は左右対称？ 講師：川崎 健夫（理学部教授）</p> <p>第3回（9月26日(木)） 健康寿命を延ばすためには？～健康な生活習慣のための環境の大切さ～ 講師：山北 満哉（一般教育部准教授）</p> <p>第4回（10月10日(木)） セルフメディケーション～上手なサプリメントのつきあい方～ 講師：吉山 友二（薬学部教授）</p> <p>第5回（10月17日(木)） おいしい魚が獲れる訳 講師：山田雄一郎（海洋生命科学部講師）</p> <p>第6回（10月24日(木)） 微生物のちから 講師：浅見 行弘（北里生命科学研究所特任准教授）</p> <p>第7回（10月31日(木)） 感情と健康—感情と上手につきあうために— 講師：岩満 優美（医療系研究科専任教授）</p> <p>第8回（11月7日(木)） 健康で豊かな人生のための生活環境調整学 講師：幅田 智也（医療衛生学部講師）</p> <p>受講資格：相模原市、座間市に在住、在勤または在学の15歳以上の方 ※受講申込・受講料等については、関連 URL をご参照ください。</p> <p>問合せ：さがまちコンソーシアム事務局内市民大学担当 〔電話〕042-703-8550</p> <p>関連URL：https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/academics/learning/index.html</p> <p>第6回 Tishler-Ōmura 講演会 日 時：10月12日(土) 13：00～16：30 内 容：</p> <p>1) Necessity is the Mother of Invention: Natural</p>	<p>Products and the Chemistry They Inspire Prof. Sarah E. Reisman (California Institute of Technology, U.S.A.)</p> <p>2) Natural Products-Prompted Chemical Biology : Phenotypic Screening and a New Platform for Target Identification Prof. Hideaki Kakeya (Kyoto University, Japan)</p> <p>3) Design of High-Performance Organocatalysts for Asymmetric Catalysis Prof. Keiji Maruoka (Kyoto University, Japan)</p> <p>4) Redesign of Vancomycin for Resistant Bacteria Prof. Dale L. Boger (The Scripps Research Institute, U.S.A.)</p> <p>定 員：約300名（要申込） 問合せ：北里生命科学研究所 第6回 Tishler-Ōmura 講演会 事務局 〔メール〕tosymp@kitasato-u.ac.jp 〔Fax〕03-5791-6335 ※申込期間：2019年8月1日(木)～9月27日(金) ※申込方法は関連 URL をご確認ください。</p> <p>関連URL：https://www.kitasato-u.ac.jp/lisci/news/TOsymp2019.html</p>
--	---

CO₂ 排出量と光熱水費

より良い地球環境の維持に向けて省エネを推進し、地球温暖化防止および光熱水費の削減にご協力をお願いします。
 外気のとり入れや服装でうまく調整し、空調の使用を最小限に抑える、照明器具をこまめに消灯する、使わな
 いOA 機器類は停止する、エレベータは使わずに極力階段を利用するなど「気づいたら即実行」を心がけましょう。

法人全体（寮を除く）

項目	2018年度 6月分		2019年度 6月分		前年比	
	排出量 単位 t-CO ₂	金額 千円	排出量 単位 t-CO ₂	金額 千円	排出量 単位 t-CO ₂	金額 千円
電気	3,988	128,515	3,900	122,592	▲88	▲5,923
ガス	1,013	41,893	857	39,707	▲156	▲2,186
重油	152	4,294	152	4,113	0	▲181
灯油	40	1,355	16	606	▲24	▲749
水道		30,269		26,648		▲3,621
計	5,193	206,326	4,925	193,666	▲268	▲12,660



北里大学

建学の精神（北里精神）

- 開拓 — 事を成してパイオニアたれ — 科学の世界ではパイオニアとなり、独創性に富んだアイデアを持つ。
- 報恩 — 人に交わって恩を思え — 自分を育ててくれた人と社会に感謝し、社会に貢献することで、恩に報いる。
- 叡智と実践 — そして叡智をもって実学の人として — 学んで得た知識と技術を実践の場に活かし、社会に還元する。
- 不撓不屈 — 不撓不屈の精神を貫け — そのためには、いかなる困難にも屈することなく、果敢にチャレンジする。

将来像

— 健康・環境・食の連携により、生命科学と医療科学を学ぶ総合大学 —

